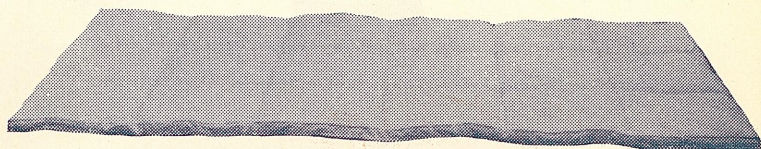




ご存じですか

とび箱のこと

マットのこと



●とび箱は………

とび箱のはじまりは、古く古代ローマに至るといわれています。古代ローマ時代の兵士の乗馬訓練の道具として使われていたのがそのはじまりで、兵士の強化と、乗馬技術の修得がその目的であったわけです。

体操の用具として使われたのは、その後のことで、スエーデンで発達したといわれます。現在では、基本的なものとして、スエーデン式のもの、ドイツ式のものとの2種類があります。スエーデン式のものには上に行くほどだんだん小さくなっていきます。ドイツ式のものとは同じ大きさのわくを重ねていくものです。変形として最下段がスエーデン式で、その上にドイツ式のものを重ねたものもありますが、現在この種のものほとんど見あたりません。ドイツ式ものは、わくが同じ大きさなので上下どこにでも使用できて便利です。わくを横に置いてハードルの代用にしたり、トンネルにしたりすることができるなど、応用面がたくさん

あります。フレーベル館のキンダーとび箱(A)は、このドイツ式をとり入れたものです。

●マットは………

マットは、はじめ平均台や、とび箱などの着地用具として生まれました。ですから、いわば補助的な役割りの用具であったわけです。しかしその後、日本では大正15年頃、新しく倒立・転回など学校要目の制定にともなって、マットは、補助的なものから独立し、体操用具の一つとして考えられるようになってきました。したがってマットは、単にやわらかいだけではその目的を達しなくなってきました。適度な厚さ・大きさ・やわらかさの研究が必要になってきたのです。特に幼児の場合はそれが重要視されなくてはなりません。また、幼児たちの力で持ち運びができるものでもありたいわけです。これらを念入りに研究して出来上がったのが、キンダーマット(A)です。

●運動具研究会推選●

キンダーとび箱(A)

5段 高さ 60cm 幅 35cm 長さ 70cm

定価 8,500円

キンダーマット(A)

厚さ 3cm 幅 90cm 長さ 180cm

定価 8,500円